

足立明先生の経歴・研究業績

経歴

1952年	大阪府生まれ
1972年4月	京都大学工学部衛生工学科入学
1977年3月	同上 卒業
1977年4月	大阪大学人間科学部研究生
1978年10月	スリランカ・ペラデニヤ大学文学部社会学科研究生
1980年10月	ペラデニヤ大学文学研究科修士課程社会学専攻入学
1986年9月	同上 修了
1986年10月	京都大学東南アジア研究センター研究員
1989年1月	北海道大学文学部基礎文化論講座助教授
1990年3月	京都大学農学博士
1996年4月	北海道大学文学部歴史文化論講座教授
2000年4月	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科連環地域論講座教授
2009年4月	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科グローバル地域研究専攻 アジア・インド洋世界論講座教授
2011年7月	熊本学園大学水俣学研究センター客員研究員
2012年	8月26日逝去、享年59

研究業績

著書

『文化と現代世界』（春日直樹、山本春樹、鈴木岩弓、伊藤義之と共に著）嵯峨野書院、1991、229p。

博士論文

Labor Exchange and Peasant Agriculture: A Case of Sinhalese Agrarian Settlements in Sri Lanka. An unpublished doctor thesis submitted to Faculty of Agriculture, Kyoto University, 247+x, 1990.

論文

「スリランカの焼畑農村」『地理』27-3、1982、pp.55-60。

「伝統農業と象徴性—シンハラ農村の事例を中心に」青木保編『象徴人類学』至文堂、1984、pp.209-220。

「シンハラ人とその家畜飼養形態—カトリック教徒と仏教徒との対比を通して」『在来家畜研究会報』11、1986、pp.251-259。

「スリランカの焼畑農耕技術—マータレー県マドゥマーナ村の事例を中心に」『農耕の技術』10、1987、pp.104-118（農耕文化研究振興会編『農耕の世界、その技術と文化IV：アジアの農耕様式』大明

堂、1997年、所収)

「シンハラ農村の労働交換体系」『国立民族学博物館研究報告』13-3、1988、pp.517-581。

"Hybridization of Yak and Cattle among the Sherpas in Solu and Khumbu, Nepal" 『在来家畜研究会報告』14、1992、pp.79-87。

「シンハラ農村と仏教—JVP反乱の後で」田辺繁治編著『実践宗教の人類学』京都大学学術出版会、1993、pp.327-354。

「開発現象と人類学」米山俊直編著『現代人類学を学ぶ人のために』世界思想社、1995、pp.119-136。

「『オタスの杜』の頭骨について—頭骨の背景事情(2)」『古河講堂「旧標本庫」人骨問題報告書』北海道大学文学部・古河講堂「旧標本庫」人骨問題調査委員会編、1997、pp.154-185。

「スリランカー民族と暴力」中林伸浩編著『紛争と運動』(岩波講座「文化人類学」第6巻) 岩波書店、1997、pp.62-94。

「開発と農民—方法論的考察」原洋之介編著『地域発展の固有論理』京都大学学術出版会、2000、pp.87-114。

「開発の人類学—アクター・ネットワーク論の可能性」『社会人類学年報』27、2001、pp.1-33。

「開発の記憶—序にかえて」『民族学研究』67-4、2003、pp.1-12。

「人とモノのネットワーク—モノを取りもどすこと」田中雅一編『フェティシズム論の系譜と展望』、京都大学学術出版会、2009、pp.175-193。

「民族紛争」田中雅一・田辺明生編『南アジア社会を学ぶ人のために』世界思想社、2010、pp.208-217。

概説・報告書・その他

「シンハラ語研修を終えて」『アジア・アフリカ言語文化研究所通信』60、1987、pp.15-17。

「風土と農業」杉本良男編『もっと知りたいスリランカ』弘文堂、1987、pp.2-23。

「シンポジウム：『文化』にとっての『生態』」『季刊人間学』19-2、1988、pp.3-82。

「医原病・死生観・老人介護—文化人類学ノート」江口隆裕編『社会参加活動動向報告』(財)長寿社会開発センター、1992、pp.97-104。

「開発の語りと農民」『総合的地域研究』1-3、1993、pp.18-20。

「「北海道らしい余暇」の語り方」「豊かな自分時間の創造をめざして」「北海道らしい余暇」研究会報告、北海道生活福祉部、1994、pp.55-57。

「男と女一人間社会の文化と性」北海道大学放送教育委員会編『性と生一生きものに見る男と女』、北海道大学出版会、1994、pp.1-10。

「開発—語りと実践」『総合的地域研究』15、1996、pp.52-54。

「『開発』とオリエンタリズム」(編著)、1997、69p。

“Alternative Development: Rhetoric or Actual Practice?” *Proceedings of the International Symposium: Southeast Asia: Global Area Studies for the 21st. Century*, Centre for Southeast Asian Studies, Kyoto University、1997、pp.321-323。

「『清潔さ』『衛生』『健康』に関わる開発現象調査に向けて」内山田康編『文化と開発—枠組みを検討する』「文化と開発」研究会平成9年度報告書、(財)国際開発高等教育機構、1998、pp.15-20。

『開発言説と農村開発—スリランカ、インドネシア、タイの事例研究』(編著) 平成8年度～平成10年度科学研究費補助金(国際学術研究)研究成果報告書、1999、243p。

「開発現象分析の枠組みに関する覚え書き—『科学のカルチュラル・スタディーズ』の応用として」内山田康編『文化と開発—枠組みを検討する』「文化と開発」研究会平成10年度報告書、(財)国際開発高等教育機構、1999、pp.69-82。

- 「開発政策と農民—シンハラ社会の事例から」『季刊：南アジア・構造・変動・ネットワーク』2-1、1999、pp.9-16。
- 「地域研究一人、言葉、モノのネットワークを把握する」『地域研ニュース』No.11、2000、p.4。
- 「地域に埋め込まれたものの探求」『地域研究スペクトラム』No.6、2001、p.20-21。
- 『非西欧世界における「清潔さ」「衛生」「健康」概念の変容—保健医療に関わる開発現象を中心に』（編著）平成11年度－平成12年度科学研究費補助金（基盤研究(C)(2))研究成果報告書、2001、82p。
- "Actor-Network-Theory and Development Phenomena: Some implications for ethnographies of development". A paper presented at the Workshop: Ethnographies of Development, National Museum of Ethnology, January 28-30, 2001.
- 『開発言説と公衆衛生：スリランカ、インド、インドネシアの事例研究』平成11年度～平成13年度科学研究費補助金（基盤研究(B)(2)) 研究成果報告書、2002、92p。
- 『スリランカにおける小規模金融政策の系譜』平成13年度～平成14年度科学研究費補助金（基盤研究(C)(2)) 研究成果報告書、2003、74p。
- 「災害研の古机」『石田紀郎退官記念文集 水かがみ』、2003、pp.31-32。
- 『参加型開発におけるプロセス・ドキュメンテーションの研究—スリランカとインドネシアの事例を通して』平成14年度－平成16年度科学研究費補助金研究成果報告書、2005、112p。
- 『地域研究におけるアクター・ネットワーク論的な展開』平成16年度～平成17年度科学研究補助金（基盤研究(C)) 研究成果報告書、2006、69p。
- 「人とモノのネットワークから地域を見る」『紅萌』12、2007、pp.9-12。
- 「人とモノのネットワーク—ブラックボックス・法隆寺・共在」加瀬澤雅人・田辺明生編『技術と社会のネットワーク—研究課題と展望—』(G-COE ワーキング・ペーパー)、2009、pp.58-67。
- 「モノをめぐる水俣病事件の社会史」水俣学研究センター『水俣学通信』24号、2011、p.7。

書評

- 「多様なアジアの農業点描：家永泰光著『アジア農耕文化探訪』農林統計協会」『農業と経済』54-2、1988、p.90。
- 「K. M. de Silva; Pensri Duke; Ellen S. Goldberg; and Nathan Katz, eds. *Ethnic Conflict in Buddhist Societies: Sri Lanka, Thailand and Burma*. London, Pinter Publishers Ltd.」『東南アジア研究』31-3、1993、pp.293-295。
- 「立本成文著『地域研究の問題と方法』京都大学学術出版会」『ソシオロジ』43-2、1998、pp.91-96。
- 「田中雅一著『供犠世界の変貌—南アジアの歴史人類学』法藏館」『人環フォーラム』16、2005、p.58。

翻訳

- メリアム K. スレイター「インセスト・タブーと生態学」『現代思想』5月臨時増刊号、1978、pp.209-229。

事典類

- 「開発と人類学」（小松ら編）『文化人類学文献辞典』弘文堂、2004、p.725。
- 「リーチ Pul Eliya」（小松ら編）『文化人類学文献辞典』弘文堂、2004、p.680r。